

新型20ftコンテナによる北海道 ～ 東京間モーダルシフト

丸玉産業株式会社と札幌自動車運輸株式会社との連携

(提案事業者)

日本貨物鉄道(株)北海道支社

北見通運株式会社

1・複数事業者との連携の可能性について

- 現在主流となっている20ftコンテナの内容積 30m^3 を 37m^3 にすることによりモーダルシフトに移行できなかった企業を取り込み効率的な輸送システムを構築する。
- コンテナの仕様を検証し、様々な形態の荷物に適用できるようにする。
- 新造コンテナの形状を背高コンテナとし上・横・後の三方開き簡易ウイングとする。

2. 参加企業の絞込み

- 道内企業の中で、東京方面より道内に向けての発送が強勢な企業の絞込み及び軽量品等を主とした品目を有する企業の選択。
- 反対に道内より東京方面に需要が強勢な長尺貨物を有している企業の絞込み

3. 絞込み結果

- ・丸玉産業(株)

現行輸送体制 から松を原料とした合板を、津別町から東京等に輸送し帰りについては、空回送となっている。

- ・札樽自動車運輸(株)

現行輸送体制 積合せ貨物等を東京より札幌に向け輸送し、返送については空回送している。

丸玉産業(株)と札樽自動車運輸(株)と提携することで検討することとなった。

4.丸玉産業様・札幌自動車様の場合（北海道～東京間）

丸玉産業様

CO2排出量 787.68 t-co2 /年



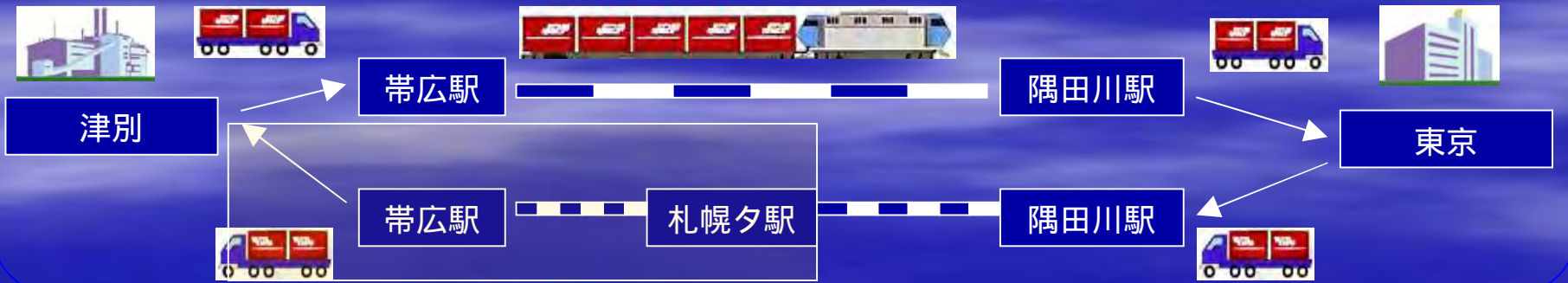
札幌自動車様

CO2排出量 525.12 t-co2 /年



シフト後

CO2排出量 319.7 t-co2 /年



993.10 t-CO₂/年 約75.6%削減

5. コンテナの仕様

